

富士見町議会行政視察報告書

平成29年9月6日

富士見町議会

議長 五味 平一 殿

総務経済常任委員会

委員長 名取 久仁春

社会文教常任委員会

委員長 小林 市子

平成29年6月定例議会において、決議された閉会中の議員派遣の結果について、下記のとおり報告いたします。

記

テーマ 「子どもを生き育てやすいまち」の取り組みについて

視察先 明石市

実施期日 平成29年8月23日（水）

視察事項：

1. 視察の目的

明石市は兵庫県内で唯一人口が増加している、「子どもを生き育てやすいまち」をスローガンとしていると聞き、その取り組みの内容と成果を確認したい。

2. 保育所、幼稚園等の第2子以降の保育料の完全無料化

（担当：福祉局こども育成室）

明石市は「明石市まち・人・しごと創生総合戦略」の人口ビジョンで、平成31年度までに人口30万人、1年間出生数3,000人という目標を掲げ、特に現市長は「子どもを核としたまちづくり」をスローガンとして、「子どもを安心して産み・育てられる町」づくりに力を入れている。

その一つが子育て世帯の経済的な負担を軽減し、2人目を出産する後押しとなるよう、保育所や幼稚園等の第2子以降の保育料を無料化するものである。

- ・平成28年度9月より実施した。関西では初めて。
- ・年齢制限なし、所得制限なし。
- ・延長保育料、給食費、教材費、被服代、文房具代等は除く。
- ・入所児童7,721人の56%、4,323人が対象となった。

(ちなみに富士見町では第3子以降としているが、対象は入所児童の約1/3のこと)

- ・今年度予算では7.7億円の歳入減を見込んでいる。
- ・4年連続して人口が増加しており、子育て世代の近隣市町からの転入増が明らかに表れている。
- ・保育所待機児童は解消されていない。(それでも待機児童受け入れ枠拡大の規模は県内最大)。保育士確保に力を入れている。(保育士の家賃補助、資格取得のための受講料補助等)

3. 小学校1年生における30人学級編成の実施

(担当：教育委員会事務局学校教育課)

兵庫県では小学校4年生まで35人学級を実施している(国は40人学級)が、就学前との環境の変化(小1プロブレム)に円滑に対応するため、小学校1年生の学級編成の標準を30人とした。

- ・平成28年より実施。県内では初めて。
- ・必要な教員は市費で加配。
- ・第1学年の児童が31～40人の場合、学級を分けるのではなく、教員を1人加えている。
- ・保護者からはより細かな指導をしていただいて、子供が小学校生活のスタートを切る上で、ありがたい措置、との声が届いている。

3. その他の子育て支援

○離婚後の子供の養育支援(全国初)

- ・離婚届を提出した一人親について、職員(社会福祉士、弁護士等)が共同して支援している。

○市職員に社会福祉士、臨床心理士、弁護士などの専門職を採用している。

○今年度児童養護施設新設予定。

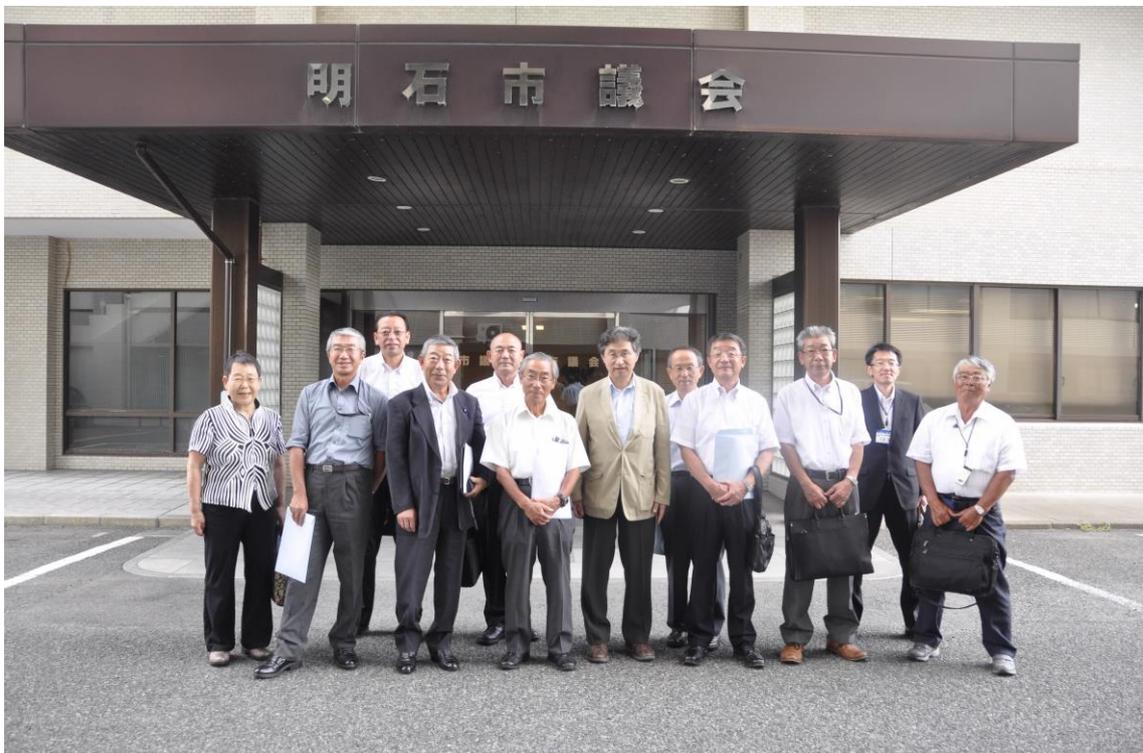
4. 感想

「子どもを核としたまちづくり」としたポリシーがしっかりして、保育児童の過半を無料にするなど、思い切った施策があつてこそ、人口増につなげることができる、ことが示されている。

<文責：名取武一>



兵庫県明石市行政視察における町議会議員一同



明石市議会棟前にて